学校番号	３０４

令和３年度　芸術科　音楽

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ１（教育芸術社出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の４つの分野を年間通して学習します。
■学習の到達度は、個別にグレード別実技テスト、自由曲の演奏発表会、鑑賞レポート、グループ創作作品、楽典・音楽史の筆記テストで評価します。
■音楽を通しての芸術活動を目指します。様々なものを吸収し、美を探究し、それを表現し伝えていくことを目標とします。
■音楽が、生涯ずっと皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽の形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌い上げよう	【歌唱】 校歌 アヴェ・マリア 青い珊瑚礁 日曜日よりの使者(ｷﾞﾀｰ弾き語り) スモーク・オン・ザ・ウォーター(ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ)	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターで弾き語りに挑戦してみよう	【器楽】 アコースティックギター 日曜日よりの使者(弾き語り)	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それを生かして表現を工夫している。 c:弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	グループ創作作品を作ろう	【創作】 楽典 音名、五線譜への記譜、音価 グループ創作（参考にしたい曲の楽曲分析）	○	○	○	○	a：グループで創作する上で参考にしたいジャンルの楽曲を探求し、よさを話し合い、主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、自らの作品に関わらせてどのように創作・演奏するか、表現意図を持っている。 c：表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。 d： 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽を聴く力をつけよう	【鑑賞】 ワルキューレの騎行 展覧会の絵 ピアノでたどる音楽史 　バロック、古典派 バッハ「平均律2巻1c-dur」、モーツァルト「きらきら星変奏曲」、ベートーヴェン「ピアノソナタ　月光」	○			○	a：ピアノの生演奏や管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d： 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	アンサンブルに挑戦してみよう	【器楽・歌唱】 スモーク・オン・ザ・ウォーター	○	○	○		a:エレキギター、エレキベース、キーボード、ドラムスの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音や各楽器の特徴を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それを生かして表現を工夫している。 c:アンサンブルするために必要な基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	五部門テスト	【歌唱・器楽・創作・鑑賞】 発表会(自由曲) 1独唱、2独奏、3アンサンブル、4創作、5鑑賞レポートによるテスト 1～3は発表、4～5は提出	○	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。 d: 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 演奏の聴取

	グループ創作作品の完成	【創作・歌唱・器楽】 グループ創作作品の完成 第1チェック 　歌詞先行、メロディー先行、コード先行を選択し1ｺｰﾗｽ分できているかチェックする。 第2チェック 　1ｺｰﾗｽ分演奏できているか聴取する	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽を聴く力をつけよう	【鑑賞】 ラ・カンパネラ(パガニーニ) ピアノでたどる音楽史 　ロマン派、近現代 ショパン「幻想即興曲」、リスト「ラ・カンパネラ」、ラフマニノフ「プレリュード　鐘」、グリーグ「ソナタ　Op.7　2楽章」、ドビュッシー「版画　塔」、バルトーク「組曲　Op.14　第1曲」	○			○	a:ピアノの生演奏や管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:　音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
3学期	グループ創作作品の録音	【創作・歌唱・器楽】 グループ創作作品の録音 録音作品をクラス内で鑑賞	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	五部門テスト	【歌唱・器楽・創作・鑑賞】 発表会（自由曲） 1独唱、2独奏、3アンサンブル、4創作、5鑑賞レポートによるテスト 1～3は発表、4～5は提出 希望者	○	○	○	○	a：歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図を持っている。 c：表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。 d： 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 演奏の聴取

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。